

日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bは、高校生のヨウさんが授業の中で「近現代日本の娯楽からみる人々の生活」について調べて発表することになり、郷土資料館の学芸員を長年務めた祖父に相談した際の会話である。この文章を読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

ヨウ：明治になると②政府は近代化を目指して新しい制度や政策を導入するよね。娯楽についても同じような政府の動きはあったのかな。

祖父：江戸時代から庶民の娯楽として人気のあった寄席での演芸でも、演じる内容が規制されるなど、統制が強められたんだよ。統制に対応するために、落語家の三遊亭円朝は落語の改良に乗り出して、1880年代には政府高官の北海道視察に同行した時の取材をもとに落語を作ったんだ。③これがその落語を筆記した『ちんせつえぞなまり椿説蝦夷訃』だよ。

ヨウ：一見難しそうだけど、読んでみると意外と内容が頭に入ってくるね。

祖父：文学者の二葉亭四迷は文体に迷ったことがあって、との主張で知られる坪内逍遙に相談したんだって。そうしたら、「円朝の落語通りに書いてみたらどうか」ってアドバイスされて、を書くようになったそうだよ。

ヨウ：そうなんだ。庶民の娯楽が明治の文学にも影響を与えているんだね。

問1 下線部②に関連して、新たに導入された制度や政策に対する19世紀後期の民衆の反応について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 地価の3%を金納させる新たな租税制度に反対する一揆が起こった。
- ② 松方財政に反対し、全国的な農民組合が結成された。
- ③ 鉄道国有法の施行に反対する民衆の暴動がみられた。
- ④ 西南戦争に際して徴収が決定した「血税」に反対する一揆が起こった。

問2 下線部⑤に関連して、次の史料1は、この本の中で、登場人物の一人が1880年代までの北海道での農村生活の様子を語った部分である。史料1に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2

史料1

ツイ先年までは此の土地に怖ろしい虫が居ました、たしか飛蝗(注1)とかもうしましたっけ。(中略)田畑を開いて穀物を作りましても其虫(その)に來られると瞬間に皆食われてしまいますので、此の土地の開墾はむずかしいと思っていましたところ、開拓使様で毎年雪の解けかかる時分(注2)大勢の人手を出して地の中にある虫の卵を取って焼き棄てましたので漸々(注3)其虫が根絶やしになつて只今(ただいま)では作物がよくできます。屯田兵などは五穀の外に桑を仕立て養蚕も致し、麻や藍を作り(中略)大きな身代(しんたい)(注4)になったものが沢山あります。

(『椿説蝦夷訛』)

(注1) 飛蝗：大群をなして飛来するバッタ類。 (注2) 時分：時期。

(注3) 漸々：ようやく。 (注4) 身代：財産。

X 史料1によれば、この土地は飛蝗による作物被害のため開墾は難しいと思われていたが、民間の有力な開拓民の主導で対策が講じられた。

Y 史料1によれば、虫害が根絶されたことで、北海道に移住してきた士族の中には、大きな財産を築いたものが多くいた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

日本史 A

問 3 空欄 に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 小説の目的は、人間の内面をありのままに描くことにある
イ 話し言葉とは異なる文体による文章
- ② ア 小説の目的は、人間の内面をありのままに描くことにある
イ 話し言葉に近い文体による文章
- ③ ア 小説の目的は、社会の理想の姿を描くことにある
イ 話し言葉とは異なる文体による文章
- ④ ア 小説の目的は、社会の理想の姿を描くことにある
イ 話し言葉に近い文体による文章

B

ヨ ウ：20世紀に入って日本で流行する新しい娯楽っていうと、何があるかな？

祖父 父：映画だね。映画は1930年代に音声が付いて人気が出たんだ。

ヨ ウ：へえー、戦時下で娯楽どころではないのかと思ってた。

祖父 父：㉓ 思想・文化の統制もあつたけど、日中戦争が始まっても映画は人気のある娯楽の一つだったよ。

ヨ ウ：当時の映画関係者の資料を調べてみるのはどうかな。

祖父 父：例えば喜劇役者として数多くの映画や演劇に出演した ㉔ 古川ロッパの日記は、1934年から1960年までのものが残っているよ。

ヨ ウ：敗戦後のものも残っているってことは、㉕ 戦後の社会状況の変化が娯楽に与えた影響を調べられるね。

祖父 父：それに、古川ロッパは食通で食べ物への関心が強かったから、㉖ 当時の食糧事情も分かるよ。

問 4 下線部㉓に関連して、次の史料2・3と日中戦争期の思想・文化の統制に関して述べた後の文 a～d について、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

史料2

事変(注1)以後農村に映画が沸騰した。(中略)産業振興による農村の景気が(中略)すぐ影響したのだが、一つには事変ニュース(注2)が軍国の血のたぎる村人達を寄せつけたので、この中には初めて映画というものを見る人々も大分混っている。映画はニュースばかりをやってはいない、^{ついで}序に娯楽映画も見る、これは面白いという順序を^{たど}辿ってきたように思う。

(『日産農業』1940年5月号)

(注1) 事変：日中戦争。

(注2) ニュース：ここでは戦況などを報道する映画を指す。

史料3

昭和十六(1941)年度上半期に於いて、都市の工業地区の映画館が繁忙であったことは、労働者に過剰購買力のあったことにもよるが、かかる生産政策的な見地より見れば、他の娯楽機関の取締^{とりしまり}強化により彼等の自然的な要求が映画に走らしめたのだ。

(『映画旬報』1942年2月号)

- a 史料2では、日中戦争開始以後1940年までの時期に、農村ではそれまで娯楽映画を見ていた人々が戦争のニュース映画に引き付けられるようになり、映画の人气が高まった、との観察がなされている。
- b 史料3では、1941年度の上半期に都市の映画館が盛況であった理由は、労働者に娯楽への需要があるにもかかわらず、映画以外の娯楽を楽しむづらくなっていることによる、との観察がなされている。
- c 戦争文学が人気を博したが、中国戦線の日本軍兵士の実態を描いた石川達三の『麦と兵隊』は発売禁止(発禁)となった。
- d 東京帝国大学の矢内原忠雄は研究が反戦的であるとみなされて、大学を追われた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史 A

問 5 下線部㉔に関連して、次の文章Ⅰ～Ⅲは、古川ロッパが戦時中に書き記した日記の一部である。日記中の「ラヂオ」「ニュース」が放送された時期を古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

5

- Ⅰ 五時、ラヂオ、ついにサイパン全滅の報道である。(中略)今日一日各興行物休場する由。全く元気がなくなる。
- Ⅱ 観劇日記つけて、女房と出かけ(中略)二千六百年奉祝日で賑わ^{にぎ}ってる。(中略)丁度近衛首相のラヂオ。
- Ⅲ 九時のニュース、わが軍沖縄の戦果、物^{もの}凄^{すご}い。敵艦船を三百何十隻と撃沈破している。ここでこそ決戦だ。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 下線部㉔について、ヨウさんは古川ロッパの日記を用いて戦後の社会状況の変化が娯楽に与えた影響を調べようとした。調べる内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 工場法の制定による余暇時間の増大が娯楽に与えた影響を調べる。
② テレビ放送の開始が役者の仕事に与えた影響を調べる。
③ 映画の有声化が役者の仕事に与えた影響を調べる。
④ 東海道新幹線の開通が地方での興行に与えた影響を調べる。

問 7 下線部①に関連して、ヨウさんは戦中・戦後の食糧事情に影響を与えた法律に着目し、次のメモを作成した。空欄 に入る語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

メモ

1942年に制定された食糧管理法では、 に対処することを目的として、生産者から自家保有分を除いた一切の主要食糧を、政府が強制的に買い上げるとされた。この法律は敗戦後も存続するが、1950年代になって生産者の保護が主な目的になった。その後、政府の財政負担が増加し、米の消費も停滞したため、1970年代になって本格的に が行われた。

- ① ウ 食糧不足 エ 減 反
- ② ウ 食糧不足 エ 米の輸出
- ③ ウ 食糧余剰 エ 減 反
- ④ ウ 食糧余剰 エ 米の輸出

日本史A

第2問 日本史探究部に所属している高校生のハジメさんは、「明治はじめて物語」というテーマで研究発表をすることになった。ハジメさんが発表のために作成した次の発表原稿を読み、後の問い(問1～4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 12)

発表原稿

〈洋服の始まり〉

1858(安政5)年に締結された条約に基づき、その翌年には横浜・長崎・**ア**で欧米諸国との貿易が始まった。**㉑**日本と欧米諸国の貿易が進展するに伴い、西洋文明の生活様式も徐々に日本社会へ浸透していった。

例えば、永井荷風は『洋服論』のなかで「日本人そもそも洋服の着始めは旧幕府^{フランス}仏蘭西式歩兵の制服にやあらん」と指摘しており、明治時代になると洋服を着る習慣は、**イ**から次第に広まった。

〈銀行の始まり〉

明治新政府が樹立されると、生活様式だけでなく、様々な社会制度も西洋文明を模範として再編されていった。

例えば、貨幣制度の整備は政府の重要課題であったため、1872(明治5)年にアメリカの制度を参考にして**㉒**国立銀行条例が定められ、翌年に第一国立銀行が発足した。

もっとも、江戸時代にも三貨の両替や為替の発行を業務とする商人は存在しており、日本の銀行が西洋文明の影響だけを受けて登場したわけではない。**㉓**明治時代に新たに登場した生活様式や社会制度、文化活動のなかには、西洋文明の影響を受けつつ、同時に日本の伝統を引き継いでいるものがいくつも存在する。

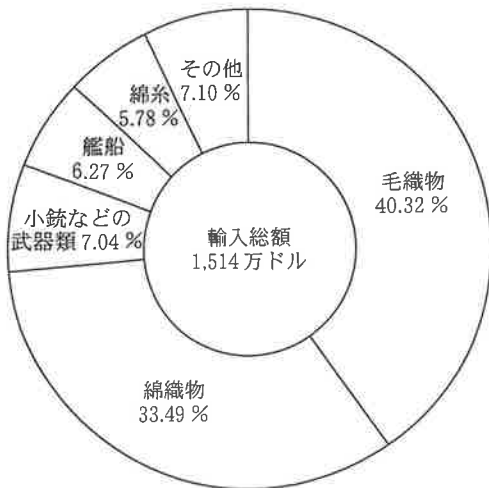
問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **8**

- ① ア 兵 庫 イ 官営模範工場の工女
- ② ア 兵 庫 イ 官吏や軍人
- ③ ア 箱 館 イ 官営模範工場の工女
- ④ ア 箱 館 イ 官吏や軍人

問 2 下線部③に関して、ハジメさんは1865年と1867年における日本の輸入総額と主な輸入品の割合を調べ、次のグラフ1・2を作成した。これらのグラフに関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **9**

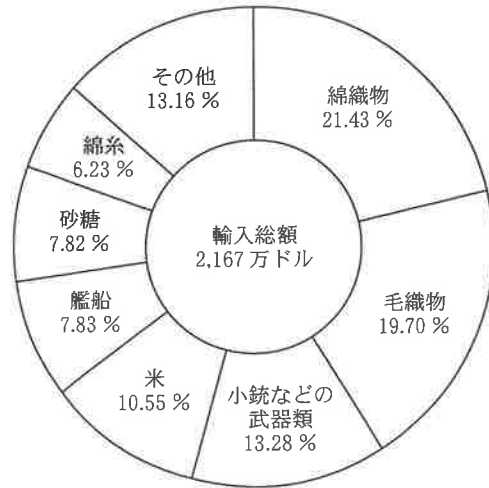
グラフ 1

1865年における日本の
輸入総額と主な輸入品の割合



グラフ 2

1867年における日本の
輸入総額と主な輸入品の割合



(石井孝『幕末貿易史の研究』により作成)

日本史A

X グラフ1とグラフ2からは、艦船や小銃などの武器類の輸入額が増えたことが確認でき、幕末期の日本で西洋式軍備の需要が高まっていたことが分かる。

Y グラフ1からグラフ2へと輸入総額が変化した背景には、欧米諸国の要求により関税率が引き上げられたことがある。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問3 下線部①に関連して、銀行の始まりに関して調べたハジメさんは、次の史料を見つけた。この史料を参考にしつつ、国立銀行に関して述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

10

史料

国立銀行条例は、明治五年十一月はじめて発布せられ(中略)政府の命令同様のしょうよう 憲 憑(注)にて、三井組、小野組発起し、資本金二百五十万円の銀行を設立することとなり、(中略)国立銀行条例に準拠し、六年八月一日開業の式をあげ、(中略)これを第一国立銀行とす。(中略)明治九年八月五日、華士族禄制変更のために、金禄公債一億七千余万円を発行せり。この公債証書をもって、国立銀行設立を申請する者 おびただ 夥しく、(中略)多数の乱立をみたり。

(石井研堂『明治事物起原』)

(注) 憲憑：勧めてそうするように仕向けること。

日本史A

- ① 当初、国立銀行が発行する銀行券は、正貨との兌換は義務付けられていなかった。
- ② 国立銀行の中では、第一国立銀行だけが政府から紙幣発行の権限を与えられた。
- ③ 政府は、三井組と小野組が出資して設立した銀行に対抗するため、第一国立銀行を設立した。
- ④ 金禄公債証書をもとに、国立銀行を設立しようとする華族や士族が多く現れた。

問 4 下線部㉔に関して述べた次の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。

11

- a フェノロサは日本の伝統美術を再評価し、その復興に尽力した。
- b 洋学者の加藤弘之は、他の洋学者と政教社を組織して、表面的な西洋化を批判した。
- c ドイツ民法を模範として編纂^{へんさん}され、1890年に公布された民法は、日本の伝統を破壊すると批判され、施行延期となった。
- d 明治政府は、旧暦(太陰太陽暦)を廃して太陽暦を採用したが、都市部に比べて農村部では旧暦使用の慣習が長く残った。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 A

第3問 高校生のコウさんは授業の課題として、明治時代以降の教育と社会の関係をテーマにレポートを作成している。コウさんが作成中の次のレポートを読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

レポート

明治時代、欧米の制度を参考にしながら①学校教育制度が創設された。政府は、外国から専門家を招き、教師などとして雇用した。鹿鳴館を設計した **ア** は、工部大学校で建築家の育成を行った。一方、学問や技術を学ぶために留学する者もいた。政府は②学制を發布し、学校教育制度の基礎を作った。そして、1887年に③文官高等試験制度が設けられると、高等教育を受けた者が高級官僚の職を得るようになった。その後、おもに **イ** の大冶鉄山から輸入した鉄鉱石で鉄鋼の製造を開始した官営八幡製鉄所においても、学歴により職務や俸給が決められるようになり、学校教育と職業の結びつきが強くなった。

義務教育である尋常小学校修了後の進路として、高等小学校に加え、中等教育機関として男子が進学する中学校が設置されるとともに、大正期には女子の進学先として高等女学校が次々と設立され、これらの学校の生徒数は急増した。人々の④学びの期間は延びていったのである。中学校と高等女学校は、敗戦後に新制高等学校へと再編された。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **12**

- ① ア モッセ イ 清
- ② ア モッセ イ 朝鮮
- ③ ア コンドル イ 清
- ④ ア コンドル イ 朝鮮

問 2 コウさんは1900年以降の学校種別の校数の推移を調べ、次の表にまとめた。この表と教育制度の変遷について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 13

表

	小学校(注)	中学校	高等女学校	師範学校	専門学校	高等学校	大 学
1900年	26,857	218	52	52	52	7	2
1910年	25,910	311	193	80	79	8	3
1920年	25,639	368	514	94	101	15	16
1930年	25,673	557	975	105	162	32	46
1940年	25,860	600	1,066	103	193	32	47

(矢野恒太記念会編『数字でみる 日本の100年 改訂第7版』により作成)

(注) 小学校は、尋常小学校、尋常高等小学校、高等小学校の合計。

- ① 1900年と1910年を比較すると、小学校の数が減少しており、そのことは、この間の就学率の低下と関係している。
- ② 1920年から1930年にかけての中学校の数の変化は、この間に義務教育が6年に延長されたことと関係している。
- ③ 1900年から1940年にかけて、高等女学校の数が中学校の数を常に上回っており、そのことは、この間に女子を対象とした高等教育機関が増設されたことと関係している。
- ④ 1910年から1930年にかけての大学の数の変化は、この間に私立大学などの設立が認められたことと関係している。

日本史 A

問 3 下線部㉔に関連して、明治時代以降の教育に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 日露戦争後の社会不安の増大を受けて、政府は教育に関する勅語(教育勅語)を出した。
- ② 明治時代に小学校の唱歌教育が始まったことにより、政府は西洋音楽を禁止した。
- ③ 日中戦争が長期化すると、政府は小学校を国民学校と改め、戦時体制を支える国民の育成を目指した。
- ④ 敗戦後、GHQ は修身・日本歴史・地理の教育を奨励した。

- 問 4 下線部①に関連して、次の史料1は学制の教育理念を説明した太政官布告である。学制及び史料1に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 15

史料1

人々自ら其^{その}身を立て、其産を治め(注1)、其業^{さかん}を昌^{もつ}にして(注2)、以て其生^{とく}を遂^{とし}る所以^{ゆえん}のものは他^{ほか}なし、身を修め、智を開き、才芸を長ずるによるなり。而て其身を修め、智を開き、才芸を長ずるは学^しにあらざれば能^{あた}わず。(中略)従来学校の設ありてより年^ふを歴ること久しといえども(中略)人其方向を誤り学問は士人以上の事とし、農工商及び婦女子に至^{これ}っては之^{これ}を度外におき、学問の何物たるを弁^まぜず、又士人以上の稀^{まれ}に学ぶ者も、動^やもすれば(注3)国家の為^{ため}にすと唱へ、身^{たつ}を立^もるの基^{もと}たるを知らずして、(中略)空理虚談^{くうりきょだん}の途^とに陥り、其論高尚に似たりといえども、之^{これ}を身に行い事に施^あすこと能^{あた}わざるもの少^{すく}からず。

〔法令全書〕

(注1) 産を治め：生計を立て。

(注2) 業を昌にして：事業をさかんにして。

(注3) 動もすれば：どうかすると。

X 史料1からは、教育の目的は、自分の生活上の利益を考慮することなく国家のために学ぶことにあるという考えが読み取れる。

Y このとき定められた学制は、男子のみに小学校教育を義務づけた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史 A

- 問 5 下線部㉔に関連して、コウさんは文官任用令について調査し、次の史料 2 を見つけた。この史料 2 とその時の政治に関して述べた後の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。 16

史料 2 文官任用令改正の起因(1899年3月30日)

昨年憲政党内閣の際、むやみに在野(注1)の党员を任用せしに、其結果甚だ面白からざるものあり。殊に在来の行政官は、之が為に職に安んぜずして事務を荒廢するが如き恐れあれば、一方には不慣^{ふなれ}の無頼者を防ぐと同時に、一方には文官の保障を与へて気安く事務に鞅掌^{おうしよう}(注2)せしめん。

(『読売新聞』)

(注1) 在野：政府外。個人が官吏にならないでいること。

(注2) 鞅掌：忙しく働く。専念する。

- a 史料 2 は、第 1 次大隈重信内閣が憲政党员をむやみに官僚に任用したことを問題視している。
- b 史料 2 は、文官任用令の改正により、試験によって公平に官僚を選ぶことが困難になったことを指摘している。
- c この改正を行った時の内閣によって、軍部大臣現役武官制が定められた。
- d 憲政党は、1900 年に結成された立憲政友会と対立した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 6 下線部①に関連して、明治時代以降の学問に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

- Ⅰ 刑法学説が危険な思想であるとして、滝川幸辰が休職処分を受けた。
 Ⅱ 医学では北里柴三郎がペスト菌を発見し、薬学では高峰譲吉がタカジアスターゼを創製した。
 Ⅲ 福沢諭吉が『学問のすゝめ』で、自分自身で学問に励み、事業を起こす必要性を指摘した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 7 コウさんは調査をさらに進め、レポートを完成させた。近現代の教育と社会について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 明治時代において、外国からの専門家、外国への留学生により、西洋の文化や技術が導入された。
 ② 明治時代の一般的な女子教育は、良妻賢母の理念を批判し、男子とともに働く職業婦人の育成を目的としていた。
 ③ 大正時代には、画一的な教育への反発から、児童の個性や自主性を重んじた教育も行われた。
 ④ 敗戦後、学校教育法により、六・三・三・四制の新しい学校制度が始まった。

日本史 A

第 4 問 次のプリント A・B は、二度の世界大戦後の日本と国際社会の関係をテーマに、発表準備を進めている高校生のヒマリさんが作成したものである。この文章を読み、後の問い(問 1～7)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A 第一次世界大戦後の日本と国際社会の関係について作成したプリント

- ・大戦後の日本：複数の国際会議に参加。新しい国際社会の構築への関与。
例：1921～22 年のワシントン会議→㉑ 日本は多くの新条約を締結，古い条約を廃棄。
- ・㉒ 不戦条約の締結(1928 年)：日本も調印・批准。
内容：国際紛争を解決する手段としての戦争を，放棄すると誓う。
- ・1931 年 9 月～：日本軍が中国東北部で軍事行動を開始。
疑問点：㉓ 日本政府は，不戦条約などとの関係をどう考えたのか？
- ・その後の展開：国際組織や条約からの相次ぐ脱退。
疑問点：㉔ 国際社会との関係を日本の指導者たちはどう構想したのか？

問 1 下線部㉑に関連して、ヒマリさんが見つけた次の史料 1～3 に関して述べた後の説明 X・Y について、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

19

史料 1

両締盟国のどちらかが自ら挑発せずに(中略)その領土権や特殊利益を防護するために交戦する時は(中略)他の一方の締盟国は(中略)協同して戦闘に当り、講和も同様に両締盟国が合意した上で行う。

史料 2

締約国は戦争に訴えない義務を受諾し、(中略)各国政府間の行為を律する国際法の原則を確立し、(中略)各国間の平和安寧を完成するため、ここに国際連盟規約を協定する。

史料 3

締約国は各自の主力艦建造計画を廃止しなければならず、同時に(中略)(別の条項)に掲げる規定に従って(老朽艦の代わりに)建造することができるトン数以外に、新しい主力艦を建造したり取得したりできない。

(史料 1 ~ 3 は『日本外交年表並主要文書』)

X ワシントン会議で調印された条約の一部

Y ワシントン会議で廃棄された条約の一部

- | | | | |
|------------|----------|------------|----------|
| ① X — 史料 1 | Y — 史料 2 | ② X — 史料 1 | Y — 史料 3 |
| ③ X — 史料 2 | Y — 史料 1 | ④ X — 史料 2 | Y — 史料 3 |
| ⑤ X — 史料 3 | Y — 史料 1 | ⑥ X — 史料 3 | Y — 史料 2 |



問 2 下線部①に関連して、この条約に調印した内閣について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 20

- ① 幣原喜重郎を外相に起用し、列強との協調を重視する外交を展開するとともに、ソ連との国交を樹立した。
- ② 無政府主義者の青年が虎ノ門(虎の門)付近で摂政宮(皇太子)を狙撃した事件の責任をとって総辞職をした。
- ③ アメリカによる共同出兵の提唱を受けて、同国およびイギリス・フランスとともにシベリア方面に出兵した。
- ④ 25歳以上の男性に選挙権が、30歳以上の男性に被選挙権がある最初の総選挙を実施した。

日本史 A

問 3 下線部◎に関連して、ヒマリさんは発表で、次の史料 4 を紹介した。史料 4 に関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 21

史料 4 海軍省・陸軍省・外務省による中国問題処理の方針(1932年1月6日)
満蒙はこれをさしあたり中国本部政権より分離独立した一政権の政治支配地域とし、一つの国家の形態をとるように誘導する。(中略)
満蒙の治安維持及び満鉄以外の鉄道保護は、主として中国側の警察ないし警察的軍隊に当たらせる。(中略)
それぞれの措置の実行にあたっては、つとめて国際法ないし国際条約抵触を避け、特に満蒙政権問題に関する措置は九カ国条約などの関係上、できる限り中国側の自主的発意に基づいたような形式にするを可とす。
(『太平洋戦争への道』)

X 史料 4 によれば、日本は関東軍の行動に制限を加え、満鉄の警備を中国側に任せることにした。

Y 史料 4 からは、日本政府内では中国に関する問題について既存の条約などに違反しない方針が検討されていたことがわかる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ① | X 正 | Y 正 | ② | X 正 | Y 誤 |
| ③ | X 誤 | Y 正 | ④ | X 誤 | Y 誤 |

問 4 下線部㉑に関連して、日本の外交に関して述べた次の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。 22

- a 既存の国際秩序に批判的なドイツやイタリアに接近した。
- b 重慶の国民政府を「^{あいて}対手」とする声明を出して、日中関係を改善した。
- c 北方の安定を確保して南進政策を進めるため日ソ中立条約を締結した。
- d 独自の経済圏を作るため、日本は日米通商航海条約の廃棄を通告した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

B 第二次世界大戦後の日本と国際社会の関係について作成したプリント

- ・敗戦と占領：1952年の独立回復まで、独自の外交が不可能に。
- 疑問点：㉒ アメリカ主体の占領は日本社会にどのような影響があったか？
- ・1951年の対日講和会議：開催国はアメリカ。
- 内容：㉓ 日米安全保障条約にも調印→日本にとってアメリカの圧倒的な存在感。
- 対日講和会議に参加せず、㉔ 日本と国交を樹立しなかった国々の存在。

問 5 下線部㉕に関連して、占領期における日本の社会や文化の説明として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 23

- ① 占領軍によって、軍人や政治家など戦争中の責任を問われた人物が公職から追放された。
- ② アメリカ教育使節団の勧告に基づき、教育の機会均等をうたった教育基本法が制定された。
- ③ 戦時期の抑圧的な風潮が継続し、明るくのびやかな歌謡曲は日本政府によって規制された。
- ④ 日本政府による言論統制が解かれ、政治批判を含む言論が盛んになる一方で、占領政策に対する批判は禁止された。

日本史A

問 6 下線部㊦に関連して、敗戦後に日本がアメリカとの間で結んだ次の条約・協定Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 24

- Ⅰ アメリカが「琉球諸島」の権利を放棄する協定
- Ⅱ アメリカから経済的援助を受けるとともに、自衛力を増強する義務を負う協定
- Ⅲ 在日アメリカ軍の「極東」での軍事行動に関する事前協議を定めた条約

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 7 下線部㊧に関して、ヒマリさんは、対日講和会議以後の日本との外交関係について次のメモを作成した。空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25

メモ

日本はサンフランシスコ平和条約の調印によって独立した。講和会議に ア は参加したが調印しなかった。この時、講和を結ばなかった国々とは、個別に国交を結ぶことになった。

例えば、1972年に日本と中華人民共和国とは、両国間の「不正常な状態」を終結させるため、 イ に調印した。

- ① ア ソ 連 イ 日中平和友好条約
- ② ア ソ 連 イ 日中共同声明
- ③ ア インド イ 日中平和友好条約
- ④ ア インド イ 日中共同声明

第5問 高校生のユキさんは、近現代の日本経済について調査し、次のメモA～Cを作成した。この文章を読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A 大正期～昭和初期に関するメモ

- ・第一次世界大戦を契機に、日本では②工業化が以前にも増して進行した。労働者の賃金も上昇した。
- ・1920年を境に、日本経済は慢性不況の状況に陥り、関東大震災がそれに拍車をかけた。
- ・関東大震災後、金融機関の保有する手形(一定期間内に代金を支払うと約束をした有価証券)の多数が、代金の回収が困難となる「不良債権」となった。
*企業間の取引では、代金の決済には手形が用いられるのが一般的。手形を受け取った企業は、その手形を金融機関に額面(支払い約束額)より安値で買い取ってもらい、すぐ現金化できた(これを「割引を受ける」と言う)。銀行は、買い取り価格と額面の差額を利益とした。
- ・大震災後、①巨額の不良債権を抱える銀行を救済するための法令(勅令)が出された。

問1 下線部②に関連して、1910年代から20年代における工業化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 日本の紡績会社は、国内よりも賃金が低い中国での現地生産を増加させた。
- ② デモクラシーの風潮が高まるなかで工場労働者の地位向上が進み、第一次世界大戦が始まる頃には、大規模な労働争議は見られなくなった。
- ③ 鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が発展したことで、紡績業などの軽工業が中心だった三菱や三井、住友といった財閥の影響力が低下した。
- ④ 第一次世界大戦の終了後に貿易用の船舶需要が世界的に増えたため、従来輸入に頼っていた船舶の国産化が進み、国内の造船業が発展し始めた。

日本史 A

- 問 2 下線部⑥に関連して、次の史料 1 に関する後の語句 X・Y と、それについて述べた文 a～d との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

27

史料 1

この法令の恩恵にあずかりえたのは、第一に政商であり、第二に震災打撃の比較的軽微なものであった。すなわち、政商は震災以前の累積的損害により支払い困難となっていた手形を震災手形と詐称して、その特典を乱用しており、また日銀はじめ市中有力金融機関は、震災打撃の甚だしい企業の発行した手形は危険なものとして、震災手形としての割引を拒否したのである。

(高橋亀吉・森垣淑『昭和金融恐慌史』)

X 震災手形と詐称された手形

Y 市中有力金融機関

- a 震災前から経営困難に陥っていた企業が発行した。
- b 震災による損害の甚大な企業が発行した。
- c 震災による損害の甚大な企業が発行した手形を優先的に買い取った。
- d 震災による損害の軽微な企業が発行した手形を優先的に買い取った。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

B 敗戦直後～高度経済成長期に関するメモ

- ・ ㉞ 日本経済の成長の主要な原動力となったのは、1950年代前半までは敗戦からの復興であり、50年代後半から60年代では、企業の設備投資であった。
- ・ 1960年に発足した **ア** 内閣は、「所得倍増」のスローガンを掲げて、長期的な高度経済成長を目指した。
- ・ 1970年代前半に日本経済の成長は鈍化した。対策として田中角栄内閣は財政支出を増やす景気の刺激策を取ったが、**イ** を悪化させ、日本経済は混乱した。こうした状況で、高度経済成長は終わりを迎えた。

問 3 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- ① ア 鳩山一郎 イ インフレーション
- ② ア 鳩山一郎 イ デフレーション
- ③ ア 池田勇人 イ インフレーション
- ④ ア 池田勇人 イ デフレーション

問 4 下線部㉞に関連して、敗戦後から1960年代における日本経済に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **29**

- Ⅰ 東京オリンピックを契機に、高速道路などの交通網の整備が進んだ。
- Ⅱ 石炭・鉄鋼増産に重点を置く傾斜生産方式を政府が打ち出した。
- Ⅲ 国連軍として戦うアメリカ軍に軍需物資を供給し、好景気にわいた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

日本史 A

C 戦後日本の経済成長の特徴に関するメモ

日本経済は①国際的に見ても高い成長率を実現した。②産業構造も変化し、第1次産業の比重が低下して、第2次産業、第3次産業の重要性が高まった。

問 5 下線部①に関連して、次の表と史料2から読み取れることに関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

表 各国の実質 GNP(国民総生産)の推移

(単位：億円，成長率は%)

	1955 年	1972 年	1955～72 年の 年平均成長率
日 本	128,590	653,490	10.0
アメリカ	1,576,800	2,431,660	2.6
西ドイツ	192,771	535,141	6.2
イギリス	250,548	311,716	1.3

(『日本経済を中心とする国際比較統計』により作成)

史料 2

戦後 10 年間、日本の実質国民所得は年平均 11 % で成長を続けた。このような成長は西ドイツを除いては例をみることができない。いまや経済の回復による浮揚力はほぼ使い尽くされた。消費者や企業の欲望のし烈さは明らかに減少した。回復を通じての成長は終わった。

(経済企画庁『昭和 31 年 年次経済報告』大意)

X 敗戦後の復興期とその後の高度経済成長期を通じて、日本経済は、表に示されている国のうち、第二次世界大戦の戦勝国よりも高い成長率を実現した。

Y 1ドル = 360円からの為替レートの切上げが、史料2の経済の回復による浮揚力を支えていたと考えられる。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

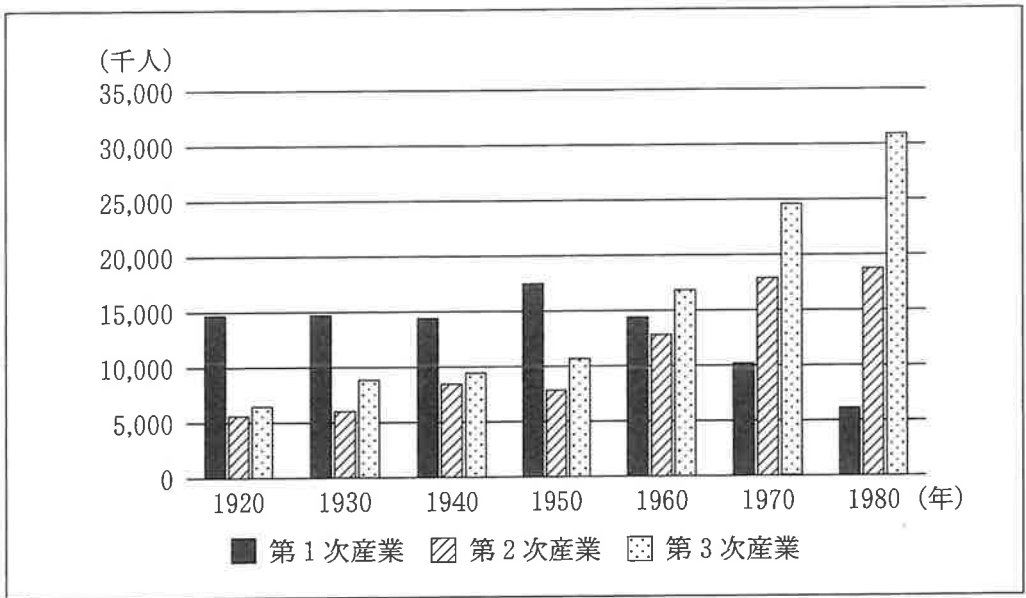
③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 6 下線部③に関連して、日本の産業構造の推移を示した次のグラフとその背景に関して述べた後の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。

31

グラフ 産業別就業者数の推移



(三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧 補訂版』により作成)

日本史 A

- a 1920～40年の工業化が進展した時代でも、第2次産業の就業者数が、第3次産業の就業者数を上回ることはなかった。
- b 1950年の第2次産業の就業者数は昭和恐慌が始まった頃の水準まで落ち込んだ。
- c 第1次産業の就業者数が、第2次産業と第3次産業の就業者数をそれぞれ初めて下回ったのは、1950～70年である。
- d 高度経済成長期の終了後も第2次産業の就業者数が増加しているのは、輸出用に国内炭田の再開発が進んだためである。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 7 ユキさんは調査を進め、それをレポートにまとめた。近現代の日本経済について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 第一次世界大戦期には、電力が蒸気力を上回る工業の動力源となり、工業化の一層の進展を支えた。
- ② 第一次世界大戦後、震災手形の救済政策で鈴木商店などの大企業の経営は回復したが、日本経済は不況を抜け出せないまま、世界恐慌が到来した。
- ③ 敗戦後の復興期、日本経済の安定を目的とする占領軍の指令の影響で、深刻な不景気となった時期があった。
- ④ 高度経済成長期、政府は農家の所得向上を図ったが、農村部から都市部への人口流出は続いた。

(下書き用紙)

